

## 春季サッカー選手権大会(一般強化事業) 大会規定および申し合わせ事項

- ・ 2015年度(公財)日本サッカー協会競技規則を適用する。
- ・ 登録は、選手18名、指導教員3名、外部コーチ1名、合計22名以内とする。(ただし、学校長についてはベンチ入りができる。)ベンチ入りできる者についても上記の22名以内とする。
- ・ 試合開始60分前には、監督はメンバー表を2部準備し、本部および相手チームに提出する。その際、ユニフォームを主審が決定する。
- ・ 飲水タイムの有無については、天候等を考慮して主審が判断する。飲水タイムをとる場合は、試合開始前に両チームに通告し、前後半1回1分程度とする。
- ・ ベンチは、プログラム記載の左側のチームがコートに向かって左側のベンチに入ること。

試合時間は50分ゲームとする。その際、アディショナルタイムの表示を行う。ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)は、原則5分間とする。インターバルの5分終了同時に後半を開始する。同点の場合は延長戦なしでPK方式により、次回戦進出チームを決定する。

5月24日(日)の最終日の順位決定は60分ゲームとし、同点の場合は延長戦なしでPK方式により決定する。決勝だけは、勝敗が決しないとき、延長10分、決しないときは、PK方式とする。(PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。)

- ・ 選手交代については、競技開始前に登録した最大7名の交代要員の中から、最大7名までの交代が認められる(一度退いた競技者は再び出場することはできない)。交代手続きは本部で行う。
- ・ 大会期間中、2度の警告を受けた者は、次の1試合の出場を停止する。退場処分を受けた者は、次の1試合の出場を停止する。なお、春季総体の警告、退場を引き継ぐ。  
※ ただし、暴力行為等による退場処分を受けた者については、規律・フェアプレー委員会(正・副専門委員長で構成する)で次以降の試合の出場を検討する。
- ・ ユニフォーム、パンツ、ストッキングは異色のものを2種類用意し、背番号は申し込み用紙に記入されたものに統一すること。
- ・ 試合球は認定5号球を使用する。
- ・ 合同チームの条件
  - (1) 足りないチームAから足りているチームBへ参加
  - (2) 足りない2チームA, Bが合同
- ・ 会場到着後、指導教員は直ちに本部へ連絡をとること。
- ・ 会場の美化に努め、ゴミ等の持ち帰りを徹底し、迷惑をかけないように注意すること。